



公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かるみあのhana

公表日 2026年3月28日

利用児童数

24

回収数

13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		3	職員はたくさんいるため安心して預けられます。	ありがとうございます。今後も、何かございましたら、連絡帳や電話などでご連絡いただければと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		3	気持ちが落ち着かないときにクールダウンできるスペース(パーテーションで区切など)があるとありがたいと思います。そういうことを考えてみていませんでした。	hanaにはカーテンがございますので、カーテンで区切ったり、3階に事務所もございますので、そちらでクールダウンすることも可能です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1		4	床が割れているのが、気になりました。そういうことを教えてみていなかったの今後みていきたいと思っています。	床の補修を随時行ったり、修理も検討しています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	2		2	移行支援という内容がわかりません。	「移行支援」というのは、児童クラブ等との併行利用に向けた支援や、地域活動への参加が出来るように支援することです。保護者様と相談しながら目標や支援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		6	3	4	ほかの方と接する事が課題です。ほかの方とどうコミュニケーション取れるか積極的にしていないので特別な環境だけになってしまっています。	毎年、地域のイベント(西ハロ)などに積極的に参加し、地域の子どもたちの交流を行っています。上手くコミュニケーションが取れるよう、関わりながら支援していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13				行事は多いので、楽しめました。	ありがとうございます。今後も利用者様、ご家族の皆様が楽しめるようなイベントを考え、開催していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	11	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	3		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11	1		1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	3		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2		1		
非常 時 等 の 対 応	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			2		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		3		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			3		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9	3		1	年齢が上がるにつれて本人にとって言われたくないことを気にすることが増えてきたから。	利用機同士の関わりももちろん大切ですが、ご本人のお気持ちも大切に、今後も寄り添いながら支援していきます。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	4				
	29 事業所の支援に満足していますか。	12	1			お弁当を買つ時、ご飯が入ったもの1つというルールが納得いかない。なぜバスなどがダメなのか分からない。	安全に配慮した結果、このような形を取らせていただいております。個別に相談していただき、対応していきますので、ご相談ください。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かるみあのhana		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 12月 16日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が社会に出た時に自立出来るよう、自分達で考えて動くことを目標としており、それぞれが係の仕事に自覚を持ち、行動できています。	高学年になると、検温係、窓係、椅子並べ係、消毒係など、毎日担当の係を決めてお手伝いをしてもらっています。自分でホワイトボードを見て確認し、言われなくても自分で行動することを目標としています。	現在は高学年の利用者様をお願いしていますが、低学年の利用者様も、先輩の姿を見て、「やりたい」という気持ちが芽生えてきています。低学年が出来るお手伝いを考えたり、高学年が低学年に教えていたりして、全員が係の仕事に責任を持ち、行動出来るような仕組みを作っていきます。
2	「持って帰れる療育～テイクアウト～」が強みです。hanaの活動の中で、学んだ知識、料理の活動で学んだ技術、SST、工作の活動で作った作品、折り紙などを持ち帰り、ご自宅や学校でも活かせるようにすることを、モットーにしています。	今までやったことのないことにも、みんなで挑戦し、学びの場を提供しています。利用者様の「できた！」という気持ちを大切に、ブログの写真を見ながら「hanaでこういうことが出来たんだよ」「これが楽しかったよ」とご自宅でも話してもらい、テイクアウト出来る取り組みにしています。	定期的な活動として、ブログの写真を見て振り返りを行い、「こういうことができるようになったね」と伝えて自己肯定感を高めていきます。また、パソコンするDAYの活動で、インターネットの使い方やブログでの検索の仕方をお伝えし、ご自宅でも見ていただき、会話の種になるようにしていきます。
3	利用者様、保護者様とのコミュニケーションを密に取り、ご要望を受けてより良くなるように改善しています。また、スタッフ同士の意見交換や役割分担も重要視しています。	定期的に交流会や保護者会を開催し、コミュニケーションを取っています。また、面談や連絡帳、電話などでご自宅での様子をお伺いし、hanaでの様子もお伝えしています。	今後も交流会を開催し、利用者様、保護者様のご要望を吸い上げて、充実した活動・イベントを行っています。また、社内でのカンファレンス、連絡ノートも上手く活用し、些細なことでも共有、相談していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様同士の仲がいいが故に、言葉遣いが悪くなってしまっていることです。	利用日数や利用年数が増えてきて、絆も深まってきているのですが、呼び捨てや言葉遣いの悪さが目立ってきてしまっています。	言葉遣いの悪さや、不適切な言葉が聞こえてきた時はその都度注意をし、正しい言葉を伝えていきます。また、小学生対象の、ぼかぼか言葉、ちくちく言葉についてを教える機会を設けたり、良い言葉は褒めて伸ばしていきます。
2	地域交流や外部機関との関わりが少ないことです。	西八口(西川口ハロウィン)のイベントは毎年行っていて、地域と交流はありますが、それ以外の活動は中々出来ていません。	hanaは、言葉でのコミュニケーションがしっかりできる子が多いので、外部との関わりも増やしていきたいと考えています。
3			